

部門講演会 No.15－53 講演会

「技術と社会の関連を巡って：過去から未来を訪ねる」

長野工業高等専門学校

羽田 喜昭

恒例の2015年度部門講演会が2015年11月28日（土）に、長野工業高等専門学校において日本設計工学会との共催行事として開催された。以下それについて報告する。

1 開催までの経緯概要

2015年度の部門講演会の長野高専での開催は2014年3月までに決定し、開催日時については同年の12月までに決定したようである。2015年の2月には予算案と計画案が日本機械学会に提出されたが、この仕事はすべて九州大学の吉田敬介先生に行っていただいた。また、OSやオーガナイザの先生方についても吉田先生にご尽力いただきました。この場をおかりし感謝申し上げます。講演会の実行委員会の立ち上げは、2015年度4月になってからである。本校校長の黒田孝春先生を実行委員長とし、本校機械工学科の先生方全員と電子制御工学科の日本機械学会員のお二人の先生方および本校の非常勤講師の先生と信州大学工学部の先生や長野県工業技術センターの職員および企業の方ならびに吉田敬介先生に全面的サポートをしていただく体制を組んだ。特別講演担当者、懇親会担当者および見学会担当者を実行委員から選任し、その委員が中心になって進めてもらうことにした。

申込締切が7月上旬から下旬に延期になり、プログラム編成等が非常に忙しくなった。その編成には、千葉工業大学の高橋芳弘先生にご尽力いただき大変感謝申し上げます。

2015年秋以降は、吉田敬介先生や日本機械学会の秋山宗一郎様のお手伝いいただき、ホームページへの情報の追加を行った。開催日の一か月前から本格的に、看板や会場物品やアルバイト学生の担当者などを決め準備に取り組み当日を迎えた。

2 開催日

2015年11月28日（土） 参加人数 63名

3 会場

長野工業高等専門学校 図書館センター 2階 視聴覚室 他 （長野市徳間 716）



長野高専 正門



長野高専 会場入口（図書館センター入口）

4 講演内容

技術・工学・環境教育（Ⅰ，Ⅱ），機械技術史・工学史，長野地方の産業技術と技術史，社会との連携，設計教育・C A D教育（Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ）のOSのほか，特別講演が行われた。

特別講演 13:00～14:00 「産業政策史の視点からみる長野県の産業・技術変遷」

元長野県商工部長 前須坂市副市長 産業考古学会 評議員 井上忠恵



特別講演講師 井上忠恵 氏



講演会の様子

江戸時代末期から明治，大正，昭和 そして今日までの長野県の産業と技術の変遷について膨大な資料に基づき，解説していただいた。

5 懇親会

18:30～20:45 懇親会 [懇親会場 北の家族] 35 名が参加し盛大に行われた。
その席で、2 件の表彰も行われた。



業績賞 石田 正治 氏



優秀論文表彰 丹治 明 氏
松野 健一 氏

6 謝辞

今回の講演会は、フィギュアスケートの NHK 杯と日程が重なり、長野市近郊の宿泊施設が満室であった。それにも関わらず参加者数 60 余名の多くの方々に参加していただいた。各セッションで活発な質疑・討論がされ非常に有意義な講演会であったと思われる。

御参加いただきました多くの方々にお礼申し上げます。

日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレター No.33

(C)著作権:2016 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門